

平山老人会（南種子町）

発表者：長 田 忠 氏

ただ今ご紹介いただきました長田でございます。平山老人会の副会長と事務局を担当しております。

本日は、思いがけない表彰をいただき、誠にありがとうございました。また、このような場において私たちの老人会の活動事例の発表の機会をいただき、誠に光栄に思っております。

1 はじめに

私たちの住んでいる南種子町は、種子島の南端にあって、世界一美しいロケット打ち上げ基地がある宇宙に最も近い島です。

平山地区は、太平洋側に面しており、南はロケット基地のある荃永地区に接し、北は中種子町と接しています。国史跡の広田ミュージアムや千座岩屋、メヒルギの群生地などの観光資源も豊かであります。水田を主体とした農村で果樹・野菜の栽培が盛んであります。また、郷土芸能も盛んな地区で蚕舞・座敷舞は県の無形文化財に指定されています。

それでは、活動事例を発表します。

2 会の組織

組織についてでございます。

平山地区は、浜田、中之町、西之町、広田の4集落で構成され、中学・小学校区（中学校は統合）単位で、わずか20数名の小学校が校区民のよりどころとなっています。平山老人会は昭和37年に設立され、現在に至っています。現在の会員数は、男性68人、女性78人の計146人です。加入年齢は原則70歳からですが、自主的に加入を希望する60代の会員が16人います。長寿・共生を祝い、老人の日の集いを開催して会員相互の交流を深



めています。

3 学習活動

学習活動についてでございます。

高齢者の学習活動では、千座岩屋から命名して千座大学を開催しています。

千座大学では、南種子町議会の傍聴をはじめ、種子島警察署の指導により交



通安全や特殊詐欺について学習しています。また、南種子町地域包括支援センターの協力で、老人福祉の制度内容やサロン、健康体操、食事などの講習を受けています。さらに、行政や町老人会、種子島地区老人会が開催する研修等へ積極的に参加するなど、生涯を通じて学習に努め、自己啓発に努めています。

4 健康・レクリエーション活動

健康・レクリエーション活動についてでございます。

平山老人会では、年4回のゲートボール大会を開催して交流を深めており、各集落ごとに毎月0の付く日を練習日に決め、技術の向上と交流を図っています。同時にその日は公民館の掃除や花壇の作り方の指導を行っています。

毎年町老人会が開催するゲートボール大会には各集落から3チームずつ、グランドゴルフ



大会には平山地区から1チーム参加しています。これら町老人会や種子島地区老人会が開催するスポーツ大会に積極的に参加することにより、日常の生活を楽しく、明るく、そして心身の健康を保ち、会員や町内の高齢者とも親睦を図っています。

5 地域活動

最後になりますが、地域活動についてでございます。

まず、地域の清掃活動として、毎年9月の老人週間に平山神社や平山小学校、平山地区公民館、旧中学校校庭の清掃を行っています。旧中学校校庭は、平山小学校と平山地区公民館で共催する平山地区運動会の場となっています。普段は使用しないため、雑草が大量に生えていますが、清掃後は見違えるようにきれいになります。これらの地域の清掃活



動は、各集落に清掃場所を割り当てられ、平山地区に居住する65歳以上の方は、老人会への加入の有無にかかわらず、全員参加で行っています。

次に、小学生とのふれあい活動として、毎年平山小学校の生徒に昔の手作りおもちゃである竹とんぼや竹馬、水鉄砲などの作り方や遊び方のほか、いちごジャムの作り方を教えています。今年度は、一緒にグランドゴルフも計画しています。

次に、平山老人会の特徴である郷土芸能の伝承活動について説明します。秋祭りや豊年祭についてですが、各集落には数件ずつ出し物があり、それらの指導は老人会の役割です。昭和30年頃から中学生や小学生に教え、地区の運動会で発表していましたが、途切れていました。そこで、13年前からこれらの指導を恒例にしようと老人会が取り組み、毎年地区の運動会で発表しています。



過去12年間に発表したものは、①中之町集落の「ひょうたん踊り」、②広田集落の「ちくてん踊り」、③西之町集落の「おつね口説き」、④浜田集落の「薙刀踊り」です。3年ごとに12年間で一回りしましたので、今年から二回りに入り、再び「ひょうたん



踊り」をやろうと練習に励み、9月18日の運動会で発表しました。これらの取り組みが、豊年祭で各集落の神社に奉納する郷土芸能を伝承する若者を育てていくことに役立っています。発表した「ひょうたん踊り」は、空き缶をひょうたんに見立てたものを腰に下げて踊るひょうきんな踊りです。これらの保存・伝承の活動には、南種子町郷土館で保管しているCDやDVDに保存された昔の音声・映像が大きな役割を果たしています。

平成27年度に開催された国民文化祭での南種子町のテーマは、「歌い継がれた民謡と踊りの祭典」でした。これまで途絶えていた民謡「西目出し」や座敷舞「ガニ舞」を老人会の歌自慢の若手などの協力を得て見事復活させ、披



露しました。「西目出し」は祝いの席で歌われるものであり、「ガニ舞」は演者が歌いながら踊る座敷舞で、狂言の原型とも言われ、動物である蟹を主人公にしたとても珍しいものです。

また、国民文化祭では、老人会の指導のもと、平山小学校の生徒が子守歌「ヨーカイ」や民謡「コウライ節」を歌うとともに、座敷舞「鳥刺し舞」を踊り、大好評でした。「ヨー



カイ」は、平成28年2月に南種子町で開催された種子島地区老人会の交流研修会のオープニングでも発表しました。今年の運動会の後、小学校からの要請もあって、新しい民謡を覚えたいと練習に努め、11月30日の学習会をはじめ、公開研究会や町の音楽祭で発表の予定です。

以上、平山老人会の活動状況を発表させていただきました。今後とも独自の活動を進めながら、「高齢者が元気な地域」を目指してまいります。

ご清聴誠にありがとうございました。